

成田用水 今秋 着工攻撃を許すな



83. 9. 2

No.1433

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）公衆）〇四七二二二七二〇七

「用水容認」「土地切り売り」の脱落派を粉碎し、 10・9三里塚に総結集しよう

組合員の皆さん！

8・8パイプライン阻止闘争の圧倒的成功をかちとった三里塚勢力は、いま全国で10・9現地大結集を目指して奮闘しています。

とりわけ、用地内を先頭とする反対同盟農民は意気軒昂としてたたかっています。いまこそ、動労「本部」革マルの「一坪再共有化運動を尊重」などという敵対をうちやぶり、三里塚―国鉄決戦の勝利をかちとろうではありませんか。

8/5 芝山町議会が闘争中止の「要望書」

政府空港公団の意をうけた芝山町議会（議長・岩沢泰雄）は、八月五日付けで用水反対闘争の中止を策動した「要望書」なるものを、反対同盟北原事務局長に送付してくるという暴挙をはたらきました。

この「要望書」なるものがだされた背景には、成田用水の測量タイ打ち策動が反対同盟の断固たる阻止闘争によって、次々と粉碎されていることによる敵のあせりであると同時に、二期着工宣言―パイプライン完成をもってする二期着工攻撃そのものであります。

新産業三角構想の先兵 成田用水着工

「要望書」は、「農業の生産基盤の確立と農業経済の繁栄」などとうたっていますがとんでもないことです。

成田用水こそ二期着工そのものであり、二期着工―空港完成をもってする「千葉新産業三角構想」にはなりません。

成田―千葉―木更津を陸と海から東京とつなげる新産業プロジェクトは、空港完成を前提にしているばかりか、農業の全面破壊、公害のまきちらしを不可避としているのです。

「用水が農業をまもる」などというのはベテンであり、その真のねらいは三里塚農民の分断、闘争破壊のなにもありません。

一坪脱落派と用水推進派の悪しきゆ着

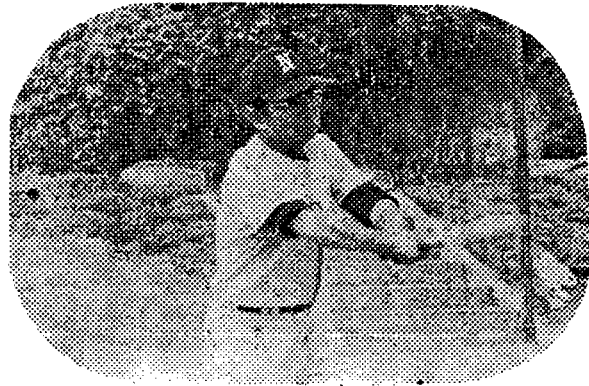
こうした敵の攻撃に対して、一坪脱落派の相川、石毛町議は、「全員協議会」でこの「要望書」を承認するという裏切り行為にはしつたのです。

~~~~~

そればかりか、同じ芝山町議で用水派の石井英祐氏は八月八日、菱田地区に新聞おり込みで「要望書」を配布するという絶対に許せぬ行為にうつてきました。

八月八日は、パイプライン供用開始の日です。「パイプラインは、二期着工ではない」とか、「用水は重要な政治闘争ではない」などといって、用水派とゆ着する一坪脱落派の正体を、ここにはつきりとみることができませんか。

「用水」攻撃を粉碎し、10・9三里塚現地への大結集をかちとろう！



八月十日、同盟対現闘の親睦野球大会で元気にプレーする北原事務局長。

芝山町議会、岩沢議長名で反対同盟、北原事務局長に送りつけられた、成田用水への協力をせまる「要望書」

### 要 望 書

成田空港開港以来すでに五カ月有余を経過し、その間周辺の市町村は、その様相が刻々と変化しつつあります。当芝山町は昭和四八年より農業の生産基盤確立と農業経済の繁栄を目的とし、成田用水事業を取り入れ、すでに一部地区を除き完成を見て参りました。

たまたま菱田地区に於いて、町当局及び地元農民の心血を注ぎ、その達成に努力している状況にも拘らず、貴殿の組織する一部反対

派の妨害によりその進捗が著しく阻害されていると承り、我々芝山町議会は極めて憂慮している次第であります。願わくは、成田市議会議員である貴殿の良識ある判断により菱田地区農民の願望である用水完成に御協力願いたく要請いたします。

昭和五八年八月五日  
芝山町議会  
議長 岩 沢 泰 雄  
外十七名  
北 原 敏 治 殿